

SELECTOR UNIT

取扱説明書

OM-K0062 Rev.A

このたびは「セクターユニット」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用前に取扱方法、使用上の注意また、保守点検等につきましてこの説明書を良くお読み頂き、正しい使用法により末永くご愛用下さいますようお願い申し上げます。

◇ 目 次

特徴、仕様	1
各部の名称	2
ご使用前に	3, 4
制御信号タイミング、回路接続構成	5
操作手順	6
ユニットの保護回路の動作	6
ヒューズの交換方法	6
複数のモーターによる自動制御のシステム図	7
使用上の注意	7

◇ セレクターユニットの主な特徴

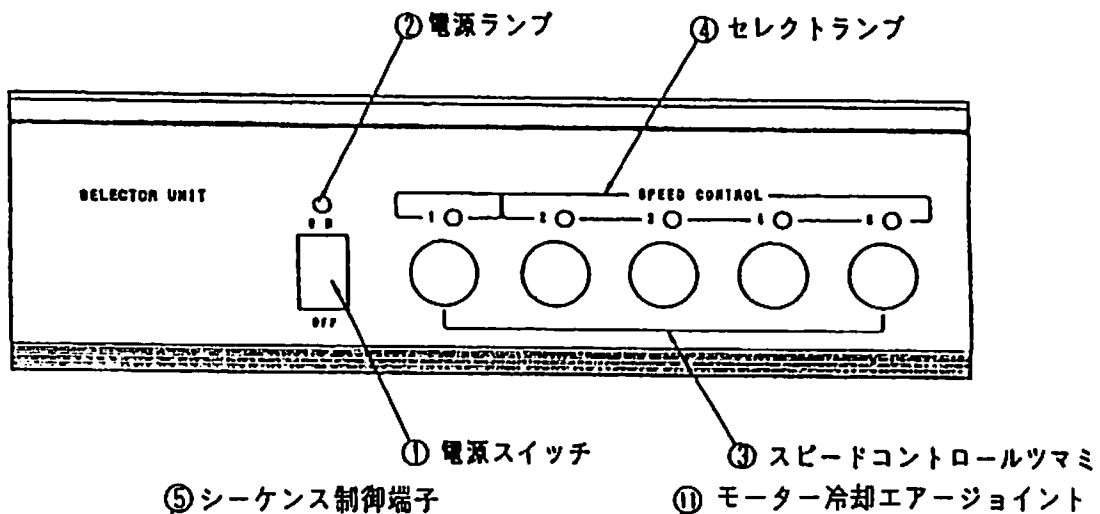
- ① コントロールユニット1台とセレクターユニット1台で、最大5本のモーターを切り替えて使用することができます。
- ② シーケンス制御により、機械との組合せが可能です。

◇ 仕 様

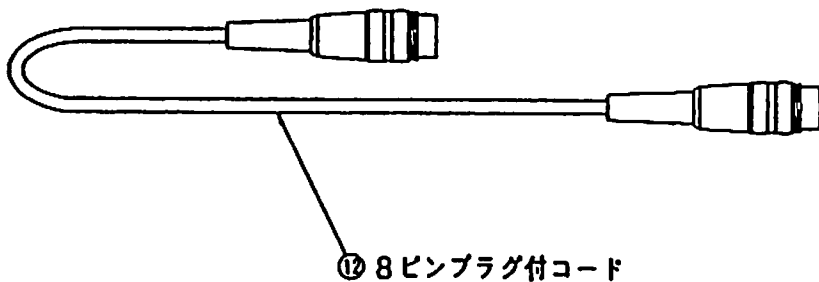
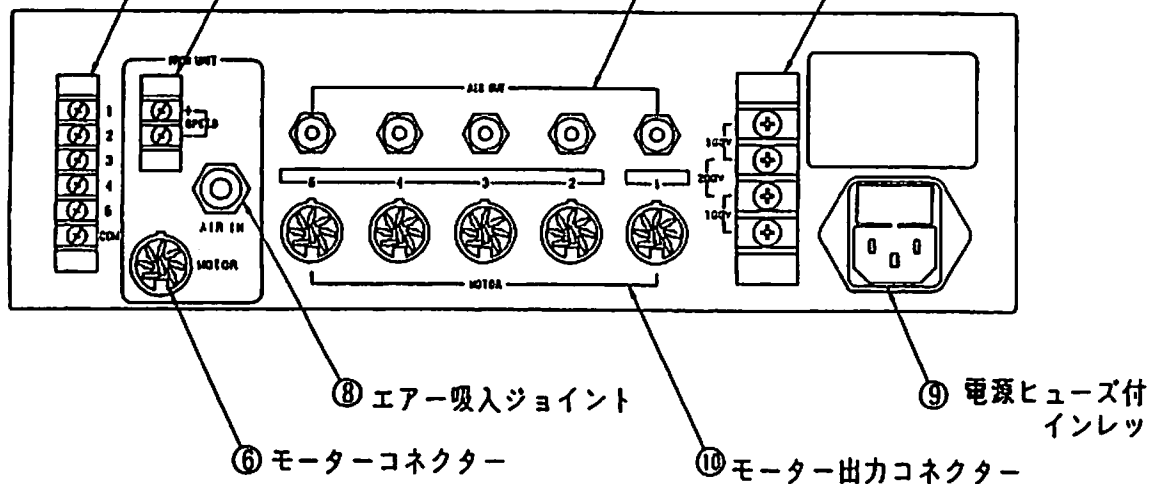
型 式	NE 6 2
電 源	100/200VAC 50-60Hz
消費電力	7W
重 量	3.6Kg
寸 法	W301×D262×H97

◇ 各部の名称

表



裏



[図-1]

◇ ご使用前に

(注 ○数字はNE52の取扱説明書をご覧ください)

1 モーターコードプラグの差し込み方法

コントロールユニット裏面のモーター出力コネクター⑩と、セレクトーユニット⑥のモーターコネクターを8ピンプラグ付コード⑫で位置を確かめて、差し込みネジで固定する。

2 エアーホース接続方法

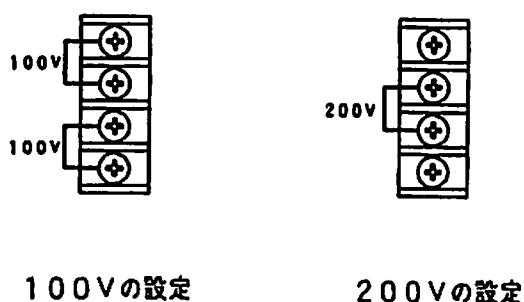
コントロールユニット裏面エアー吸入ジョイント⑬へφ6ホースを差し込み、コンプレッサーからエアーフィルターを通したクリーンエアーを圧力3.0～5.0 kgf/cm²の間でφ6ホースに入れて下さい。(なるべく5.0 kgf/cm²を推奨します。)

アストローEユニット⑩とセレクトーユニット⑧のエアー吸入ジョイントをφ6(製品によってはφ4)のホースで接続する。

3 モーターEM-401の接続方法

モーターコードプラグをセレクトーユニットのモーター出力コネクター⑩の必要ところに位置を確かめて差し込み、ネジで固定する。同様にモーターからのφ4のホースを、モーターコードプラグをねじ込んだ番号と同じモーター冷却エアージョイント⑪に差し込む。エアージョイントはホースを差し込むとエアーが出ます。

4 連結板を切り替えて100V設定か200V設定にしてください。(図-2)

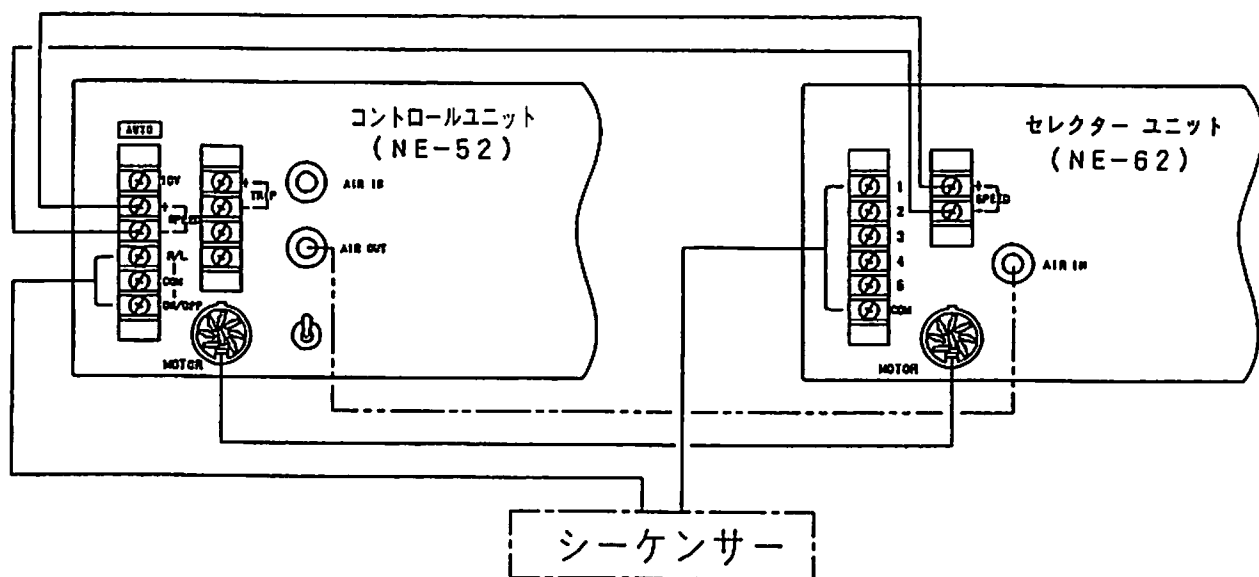


[図-2]

5 電源コードの差し込み方法

ユニット裏面の電源ヒューズ付インレットボックス⑨にしっかりと差し込んで下さい。

6 シーケンス制御接続方法



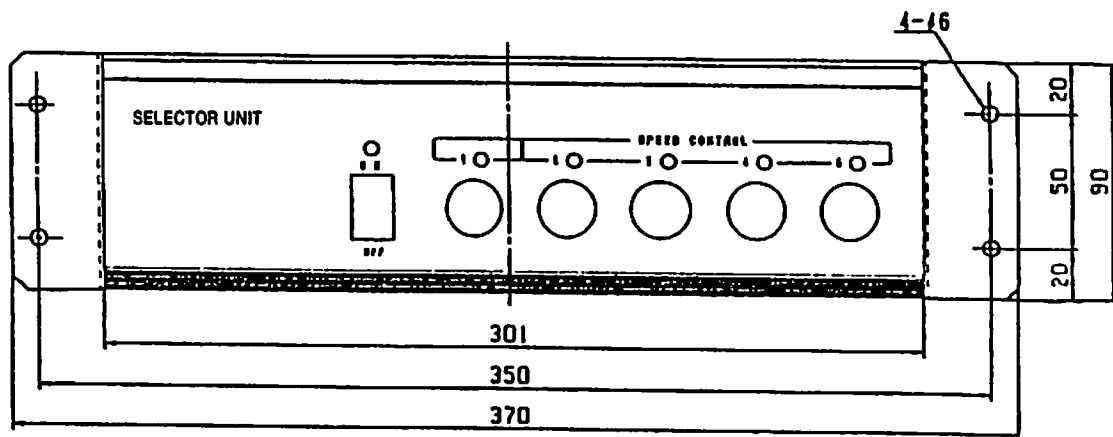
[図-3]

注) モーターの“1”をセレクトする場合は、特にセレクト信号はいりませんので接続する必要はありません。
このセレクトーユニットが接続されていて、1本のモーターだけ使用する時は“1”に接続しておくで、⑤のシーケンス制御端子に関係なく使用できます。

7 電源コードを（設定したAC100V又はAC200Vに）接続して下さい。

8 ブラケットの取付方法(ラックマウントの時)

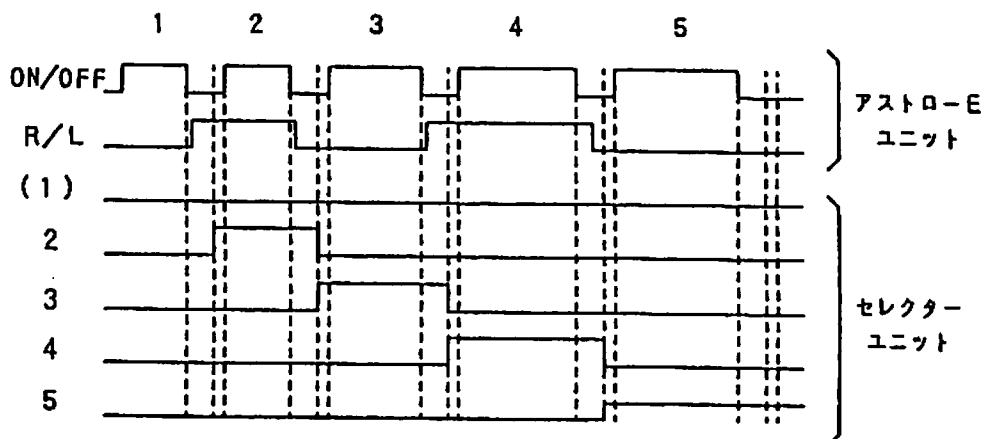
ユニット側面の左右各4本のビスをはずして、ブラケットをそのビスで取り付けます。



[図-4]

◇ 制御信号タイミング、回路接続構成

1 自動制御用信号タイミング



[図-5]

2 セレクターユニット入力回路構成 (シーケンス制御端子)

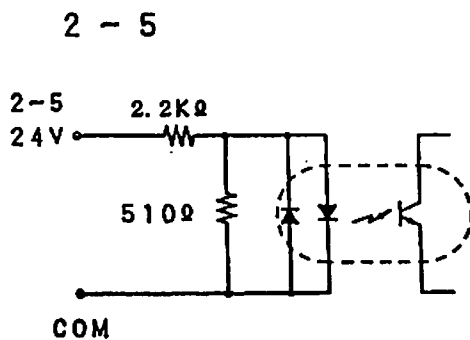


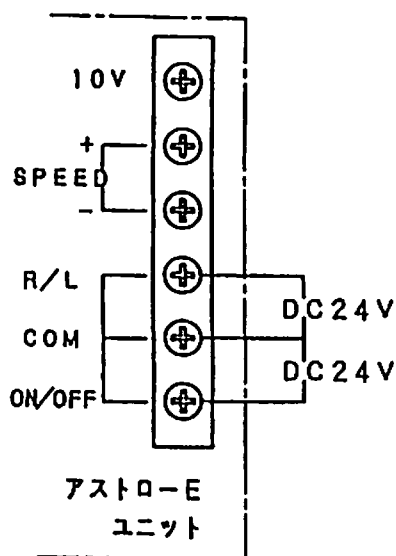
図-6がモーターセレクト信号の内部入力回路です。

2～5まで同じく構成されております。COMと各々(2～5)に+又は-24Vを加えるとモーターが選択されます。セレクト信号はモーターの回転が止まってからセレクトして下さい。

(止まらないうちにセレクトするとブレーキがかかりません。)

[図-6]

3 コントロールユニット外部接続構成（シーケンス制御端子）



[図-7]

図-7がセレクトーユニットを使用する時にR/L（正転／逆転）及びON/OFFの接続方法です。

各々の端子は、DC 24 Vを接続する。

R/L信号は24 Vを印加すると逆転、0Vにすると正転になります。

ON/OFF信号は24 Vを印加するとONになり、0VにするとOFFになります。

（R/L、ON/OFFの入力回路構成は、図-6と同じです。）

◇ 操作手順

操作方法-1

電源スイッチ①をONにして下さい。（緑色のランプ⑦が点灯）

操作方法-2

自動制御用信号タイミングにしたがって制御。

◇ コントロールユニットの保護回路の動作

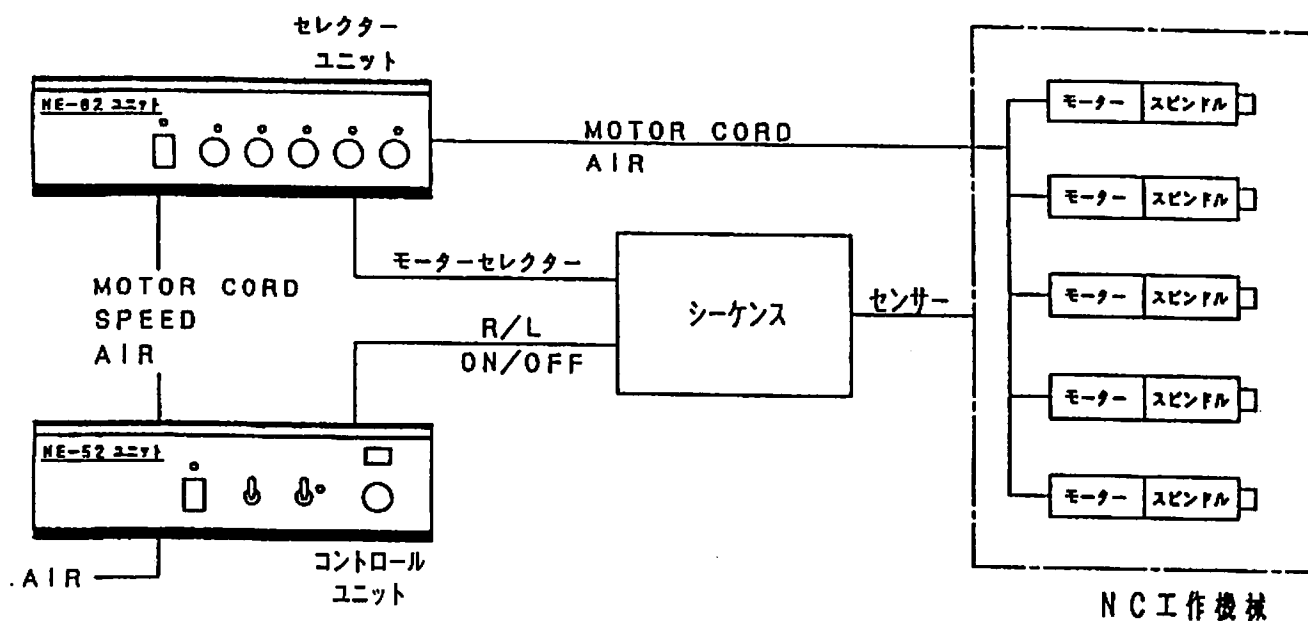
制御用信号タイミングがずれている時は、コントロールユニットのリセット動作確認ランプが点灯する場合がありモーターは回転しません。

この時は、信号のタイミングを確認して下さい。

◇ ヒューズの交換方法

インレットボックス内にヒューズがあり、左右にある爪をはずし引き抜き、ヒューズ（250 V-160 mA）の交換ができます。

◇ 複数のモーターによる自動制御のシステム図



[図-8]

◇ 使用上の注意

- モーターの回転数は、2,000rpm以下では使用しないで下さい。スピンドル回転数を2,000rpm以下で使いたい場合は、減速器を使用して下さい。
- セレクターユニットには、冷却用エアが接続されていなくてもモーターは回転しますので、冷却用エア配管は忘れずに接続して下さい。